



9月議会報告

エコ重視の交通対策 自転車を重視した環境整備を

大垣駅北自転車駐車場建設の基本設計の概要が出され、いよいよ大垣駅周辺の自転車駐車場建設事業が動き出しました。今回は一般質問でも取り上げた大垣市の自転車政策についてお知らせします。

市議会議員 笹田トヨ子

有料制導入など大垣駅周辺自転車駐車場管理運営方針(案) 出る

方針案は、「利用者の利便性・安全性を高めるため、自転車等の駐車秩序の維持・増進を図り、盗難・放置自転車を減少させる抜本的な対策として、自転車用出入り口を1ヶ所とし、有人管理かつ有料制による管理方法を検討する。あわせて、放置禁止区域を設定するなど、放置防止条例を制定し、積極的な取締りを行う」というものです。

大垣駅北自転車駐車場建設基本設計の概要

所在地：林町5丁目23番地、構造：鉄骨造2階建

敷地面積：1549.85㎡、延床面積：1940㎡

収容台数：1384台（現在 1040台）

自転車駐車方法は、高齢者や女性にも使い易く、狭いスペースで多くの自転車が収容できるスライド式ラックを採用。2階の利用者のため自動搬送コンベア（昇り用）を設置。防犯面：出入り口を1ヶ所にし、防犯カメラ・非情通報ベル等の設置。建設スケジュール：H21年度は基本・実施設計及び用地購入、水路等周辺整備工事を行い、H22年度建設工事。

一般質問

自転車駐車場の有料制 のねらいはなにか

笹田：この間、市民の方から聞いたところでは「賛成」もあれば、「有料になると困る」といった声もありました。有料制にするねらいは何か

市当局：利用者の安全性・利便性を一番に考えて有料制を導入した。有料制については、一般市民や商店街の人も参加した協議会で検討し、アンケート結果でも7割の人が賛成しているなど基本的には合意されていると認識している。今後は金額設定をどうするかという課題が残っている。有料制の導入時期は駅北・駅東、駅西の3つの駐車場が完成した時点を考えている。

笹田：経済情勢がたいへん厳しくなっていており自転車が唯一の移動手段になっている人も増えている。また利用者の多くが高校生や学生であり、料金設定については大いに配慮する必要がある。有料制を導入するにしても、別の場所に無料駐車場を作るとか、お金が戻ってくるデポジット方式にしてはどうか。

（市当局の見解は、無料制にして自転車駐車場が無秩序になることが一番困るということでした。）

放置禁止区域の設定で 商店街の影響は？

笹田：有料制にすることで路上の放置自転車が增加することが予想され、放置禁止区域を設定することになると、商店街との兼ね合いはどうするのか？

市当局：放置禁止区域は駅周辺地域だけで、商店街での自転車運用については、放置自転車と買い物客の自転車を区別して対応する。

環境対策、中心市街地活性化対策としての自転車の役割重視を

、環境対策や中心市街地活性化対策の中で自転車の役割は大きく、自転車を活かしたまちづくりを積極的に推進するよう求めました。大垣市は環境基本計画の中で自転車の活用を位置づけており、また観光客などを対象に「スイトGO」といった自転車の無料貸し出しを行っています。年々利用者は増えており、大垣駅だけでなく近鉄養老線室駅でも「スイトGO」の貸し出しを始めたとのこと。今後は高校生の通学路など自転車の視点から道路の見直しを行い、自転車専用道路網の検討を求めました。さらに、高齢化の進展や経済情勢の悪化からマイカーのない人も増えています。養老線など鉄道の存続問題も考えて、マイカーに頼らない自転車や公共交通などを中心とした市民の足をどう確保するか検討する時期にきています。今こそ、総合交通政策に取り組みよう求めました。